

〈周知及び注意喚起：新型コロナウイルス関係〉：理

\*\*\*\*\*

教職員 各位

大学本部から、新型コロナウイルスへの諸対応について、  
連絡がありましたのでお知らせいたします。

また、本学における新型コロナウイルスへの対応については、  
大学 HP 上にて逐次情報が更新されておりますので、定期的  
にご確認をお願いいたします。（現在の内容は下記「II. 本学に  
おける新型コロナウイルス感染症への対応について」を参照）

なお、学生には、別途教務課より周知いたしますことを  
念のため申し添えます。

## I. 大学本部からのお知らせ

### (1) 会議・イベント等参加者への対応

会議・イベント等へ参加される方への対応として、別添①のお知らせを  
イベント等の開催案内・HP 等への添付や掲載、会場での掲示など  
に適宜活用いただきたい旨の周知依頼。

※イベント会場入口等に設置するアルコール消毒液については、  
おって大学本部から配付される予定ですが、現時点で用意可能な  
箇所へ、本研究科事務部にて順次設置予定です。

### (2) 現在渡航中の学生・教職員への早期一時帰国の検討依頼

外務省および文科省より、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、  
日本への早期一時帰国や、中国への渡航延期検討要請が行われています。  
これを受け大学本部としても、中国へ滞在中の学生・教職員に対し、  
日本への早期一時帰国についての検討を要請する旨、別添②のとおり  
まいりましたので、該当があります場合には、至急検討いただきますよう  
お願い申し上げます。

## II. 本学における新型コロナウイルス感染症への対応について

### ■東北大学 HP

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2020/02/news20200206-00.html>

### (1) 本学における新型コロナウイルス感染症への対応

\*\*\*\*\* 大学 HP (2/14 正午現在) 抜粋 \*\*\*\*\*

新型コロナウイルス感染症については、日々状況が変化しているため、  
本学の対応もそれに応じて随時更新されます。

最新の情報や追加的留意事項は、本学ホームページやグループウェア等  
でお知らせしますので必ず定期的に確認いただくとともに、咳エチケット  
や手洗い等の感染症対策を行い、感染防止に努めるようお願いします。

宮城県・仙台市共通の新型コロナウイルス感染症に関する一般電話相談  
窓口（以下、コールセンター）が2月4日に開設されましたので、  
中国から日本に入国・帰国した方で発熱・咳やのどの痛みなどの症状が  
ある方の照会先が保健所等から変更になりました。

令和2年2月6日

東北大学感染症対策本部長 下 間 康 行

#### 1.中国から日本に入国・帰国した場合

(1) 潜伏期間があることから、日本入国または帰国の日から起算して  
14日間は自宅で休養し、自身の体調変化や症状に注意して健康観察（※1）  
を行ってください。

（出席停止、出勤停止などの措置を意味するものではありません）

（※1）別添ファイル③質問票および④チェックシートをご利用ください。

(2) 健康観察中に、37.5度以上の発熱（※2）があり、咳やのどの痛みなど  
の症状が見られた場合は、下記 e-mail アドレスに報告の上、コールセンター  
（TEL：022-211-3883）に連絡し、その後の指示に従ってください。

医療機関を受診する場合は記入した上記④チェックシート等を持参してください。

また、その指示の結果についても下記 e-mail アドレスに報告してください。

なお、症状が改善するまでの間は、自宅で休養し、自身の体調変化や症状  
に注意して健康観察を行ってください。

（※2）発熱が顕著にない場合でも（37.5度以上の発熱に限らず）、  
異常が認められた場合は、コールセンターへ連絡をしてその指示に従ってください。

■学生→[infection2020@grp.tohoku.ac.jp](mailto:infection2020@grp.tohoku.ac.jp)（保健管理センター）

報告事項：学籍番号、名前、滞在先、帰国（入国）月日、連絡用 e-mail address、症状、  
学生寄宿舍（ユニバーシティハウスなど）居住の有無、コールセンターからの指示等

■教職員→[occupational-health@grp.tohoku.ac.jp](mailto:occupational-health@grp.tohoku.ac.jp)（環境・安全推進センター）

報告事項：部局名、名前、滞在先、帰国月日、連絡用 e-mail address、症状、コールセンターからの指示等

## 2. 中国への渡航

(1) 外務省は、新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大を受け、中国湖北省以外の地域の感染症危険レベルをレベル2（「不要不急の渡航は止めてください」）としていることから、中国湖北省への渡航を中止するとともに、同国への不要不急の渡航は中止してください。

(2) なお、やむを得ず渡航が必要な場合は、定期的に家族と職場と連絡を取ると共に、外務省渡航登録サービス（たびレジ）に登録し、外務省から諸々の協力依頼があった時は迅速に対応してください。

## 3. 中国からの入国・帰国者以外の方

インフルエンザの流行期であることから、身近にできる感染症対策（手洗いの励行や咳エチケット、換気等）に努め、咳やのどの痛みなどの症状が見られた場合は、上記1-(2)に示す e-mail アドレスへ連絡し、医療機関を受診する等、適切な対応をしてください。

\*\*\*\*\*大学 HP の内容はここまで\*\*\*\*\*

(2) 参考：医学系研究科 押谷仁教授のコメント：医学系研究科 HP

ご参考として下記ページもご覧ください。

[https://www.med.tohoku.ac.jp/feature/pages/topics\\_215.html](https://www.med.tohoku.ac.jp/feature/pages/topics_215.html)

## III. 理学研究科 安全衛生管理室からの参考情報

コロナウイルス予防策として、以下の内容のより積極的な取り組みを推奨いたします。これらは日頃の安全衛生巡視の結果から推奨するものであり、コロナウイルスに限らず、風邪やインフルエンザ予防の観点からも望まれる対応ですので、ご配慮ください。

### ・換気扇の使用

空気を入れ替えることで、ウイルスの密度が下がり、病気にかかりにくくなるといわれています。

ロスナイ換気のスイッチも入れると、室温の低下も防ぐことができます。

### ・加湿器の使用

特に上層階では湿度が著しく低くなっているケースも見受けられます。

事務室則では 40%-70%になるよう努めなければならないとされております。

-----

以上、どうぞよろしく願いいたします。

理学研究科総務課総務企画係